

12. 公共施設と住民負担の関係について

12-1 公共施設の利用 (問 49)

問 49 あなたは、ここ 1 年以内に町内の公共施設（総合運動場、テニスコート、温水プールなど）を利用したことはありますか。【回答数：○印を 1 つだけ】

町内の公共施設を、ここ 1 年以内に利用したことがある人は約 3 割となっています。また、30・40 歳代は利用率が高く 4 割前後が利用しています。

【全体】 (図 12-1-1)

○「利用したことがない」は 66.9%と「利用したことがある」の 31.1%を大きく上回っています。

【前回・前々回比較】 (図 12-1-1)

○平成 27 年調査との比較では、概ね同様の結果となっています。

○平成 17 年調査との比較では、「利用したことがある」は 6.4 ポイント減少し、「利用したことがない」は 9.6 ポイント増加しています。

【年齢別】 (図 12-1-2)

○「利用したことがある」は、30 歳代が 42.7%、40 歳代が 38.2%と他の年齢層よりも利用率が高くなっています。

図 12-1-1 前回・前々回比較「公共施設の利用」

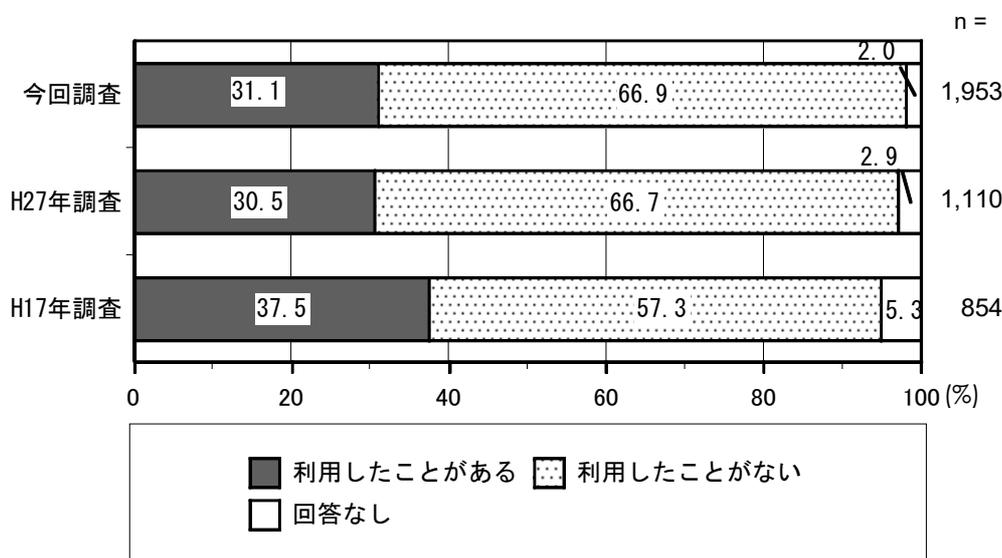
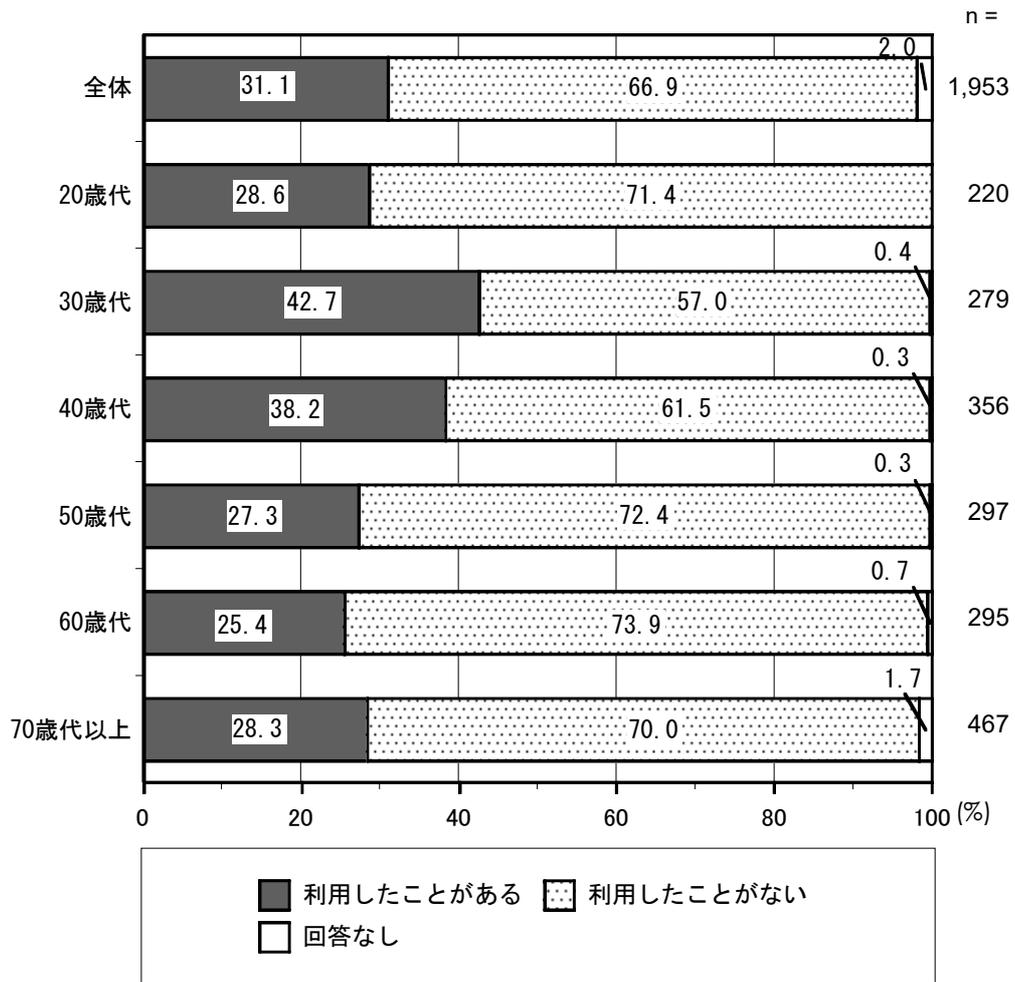


図 12-1-2 年齢別「公共施設の利用」



12-2 公共施設の利用と負担の関係（問 50）

問 50 現在、町の公共施設（総合運動場、テニスコート、温水プール、中央公民館等）は使用（利用）するときに決められた使用料が必要ですが、これらの施設の維持管理には多くの税金が使われています。これからの公共施設の利用と負担の関係について、あなたの考えに最も近いのは何ですか。

【回答数：○印を1つだけ】

【全体】（図 12-2-1）

- これからの公共施設の利用と負担の関係についてその考え方を尋ねたところ、「公共施設の維持管理は、ある程度は税金で負担し、利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」が 72.5%と最も多くなっています。
- 「公共施設の維持管理は、できる限り町民の税金で行うことが望ましい」は 12.1%、「税金で維持管理することはやめて、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」は 10.3%となっています。

【前回・前々回比較】（図 12-2-1）

- 平成 27 年調査との比較では、「公共施設の維持管理は、ある程度は税金で負担し、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」が 3.2 ポイント増加しました。
- 平成 17 年調査との比較では、「公共施設の維持管理は、ある程度は税金で負担し、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」が 4.7 ポイント増加し、「税金で維持管理することはやめて、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」が 5.7 ポイント減少しました。

【年齢別】（図 12-2-2）

- 「公共施設の維持管理は、ある程度は税金で負担し、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」の割合については、40 歳代が全体よりも 6.4 ポイント、50 歳代が全体よりも 4.3 ポイントそれぞれ多い一方で、70 歳代以上では、全体よりも 6.8 ポイント少なくなっています。

図 12-2-1 前回・前々回比較「公共施設の利用と負担の関係」

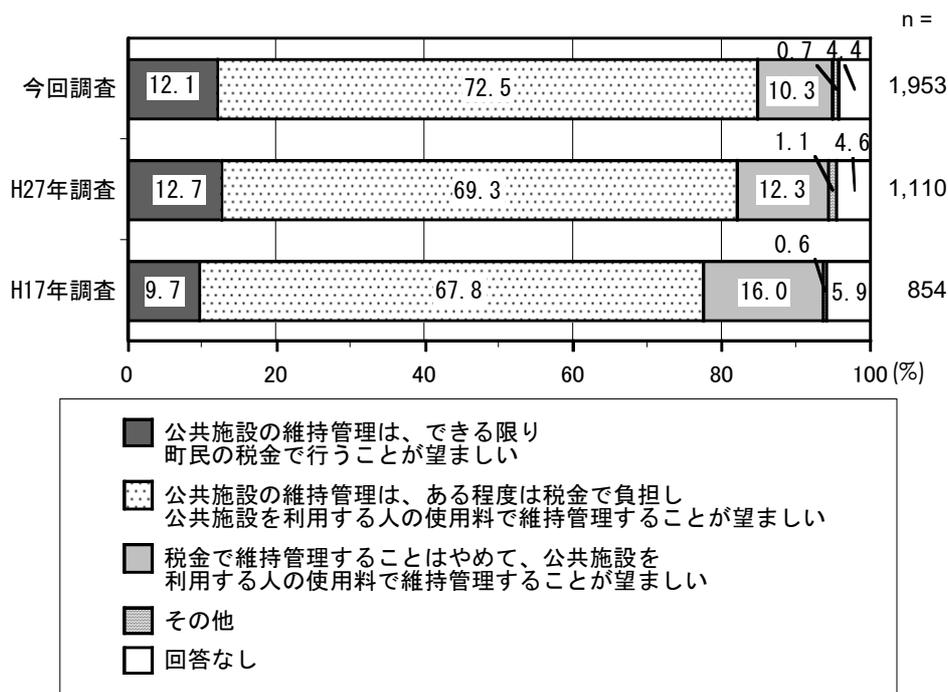
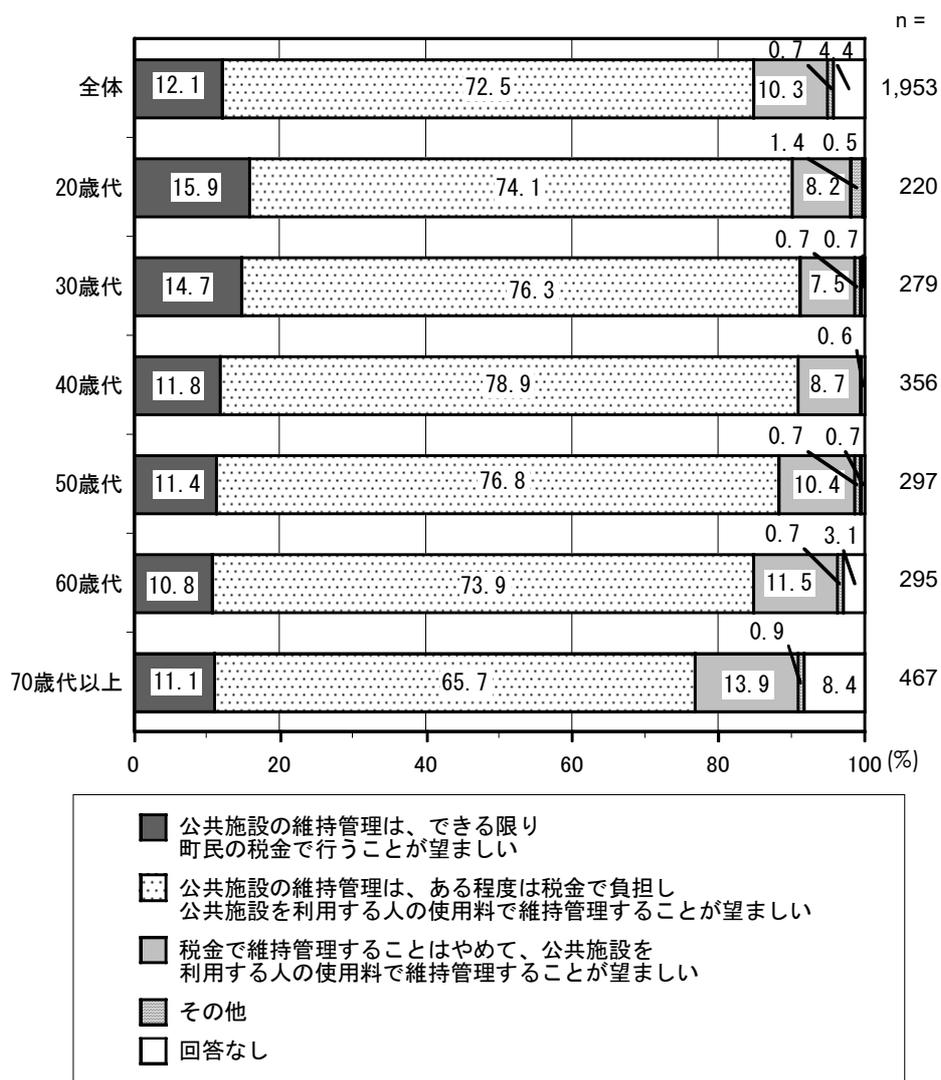


図 12-2-2 年齢別「公共施設の利用と負担の関係」



【問 49 「公共施設の利用」 別】 (図 12-2-3)

○問 49 で “ここ 1 年以内に町内の施設を利用した” ことがあるかどうかの有無別にみると、「公共施設の維持管理は、ある程度は税金で負担し、公共施設を利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」と回答した割合は、公共施設を「利用したことがある」という人では 78.3%で、「利用したことがない」(71.7%)を 6.6 ポイント上回っています。また、「公共施設の維持管理は、できる限り町民の税金で行うことが望ましい」についても、「利用したことがない」の 10.7%を 5.7 ポイント上回っています。

○これに対して、「税金で維持管理することはやめて利用する人の使用料で維持管理することが望ましい」の割合が「利用したことがない」人では 13.3%と、公共施設を「利用したことがある」という人(4.4%)を 8.9 ポイント上回る結果になっています。

図 12-2-3 問 49 「公共施設の利用」 別 「公共施設の利用と負担の関係」

